機械器具 48 注射筒
一般医療機器　麻酔用注射筒　35387001

セキュアインジェクト

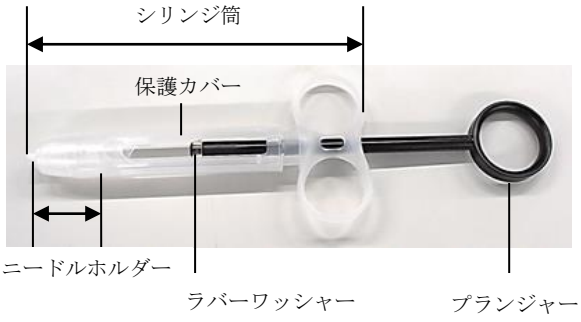
再使用禁止

【禁忌・禁止】

再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

形状：



材質： ポリカーボネート、ポリプロピレン、軟質ポリ塩化ビニル

【使用目的又は効果】

注射プランジャ付の中空プラスチック製の円筒型の器具である。
注射針とともに麻酔薬の投与（注入）に用いる。

【使用方法等】

1. プランジャーを一杯に引き、カートリッジを先端からシリンジ筒に装填する。
2. プランジャーを軽く押して、カートリッジがシリンジ筒の先端まで押し込まれたことを確認する。
3. 注射針（ネジ式）を装着する。注射針のキャップを外し患者に刺入する前に必ず液を数滴滴下させる。
4. 伝達麻酔の場合は、針を刺入し、吸引を行う。吸引の結果を観察し、血液の吸引がないことを確認した上で注射を行う。
5. 注射終了後、保護カバーを前方にカチっと音がするまでスライドさせ、確実にロックされたことを確認する。
6. 保護カバーの先端を持ってひねり、保護カバーごとシリンジ筒から注射針を取り外す。

「使用方法等に関連する使用上の注意」

- 本品に接続する注射針及びカートリッジの添付文書等を確認後、使用すること。
- 本品および注射針はカートリッジごとに廃棄すること。
- 本品と適合しない注射針及びカートリッジは使用しないこと。
- 使用目的に応じた注射針を選択し、接続すること。
- あらかじめ嵌合部に緩みがないことを確認してから使用すること。また、使用中は定期的に緩み、外れがないことを確認すること。
- 伝達麻酔の場合吸引は、プランジャー先端のラバーワッシャーをカートリッジのガラス筒に押し込んだあと、手前側に引くことで吸引することが出来る。
- 伝達麻酔の場合吸引は、ラバーワッシャーの動きに同調して、カートリッジのゴム栓が動き、吸引が行われていることを確認する。
- 強く圧力をかけずに、できるだけゆっくりと注射すること。骨膜下への強圧注射は組織の損傷、又はカートリッジの破損、あるいは液漏れにつながる恐れがある。
- 注射針を外す際、誤刺を防止するため、保護カバーを前方にスライドさせ、必ずカチっと音が聞こえ確実にロックされたことを確認してから取り外すこと。
- 注射針をリキャップする必要がある場合、誤刺を防止するためリキャップ保護具やスタンド等を用い注意して行うこと。

【使用上の注意】

- 使用前に必ず製品の点検をし、破損、磨耗、変形、その他損傷が確認された場合使用しないこと。
- 折損、破損等の原因となるので、本品に対する曲げ・切削、打刻（刻印）等の二次的加工（改造）は絶対に行わないこと。
- 破折等の原因となるため、強い衝撃を与えないように丁寧に取り扱うこと。
- 高圧蒸気滅菌をしないこと。
- 使用前に消毒する場合、消毒用アルコールで清拭すること。
- **【使用目的又は効果】**の項に記載の用途以外には使用しないこと。
- 歯科医療有資格者以外は使用しないこと。
- 廃棄の際は針を保護カバーから外さずに、保護カバーごと廃棄すること。
- 廃棄の際は感染防止に留意し、関係法令及び各自治体の指導に従った安全な方法で適切に処理すること。

【保管方法及び有効期間等】

- 高温、低温、多湿、直射日光、水分（水濡れ）を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けない清潔な場所に保管すること。
- 歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：フィード株式会社
商品インフォメーションデスク
電話 0120-004-504

製造業者　：ラクシュミ　ライフ　サイエンス　リミテッド
（インド）(Lakshmi Life Sciences Ltd)